

事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
実施期間	S53 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○米、麦類、大豆及びそばの水田農業経営の持続的な発展のためには、品質・食味に優れ、需要に見合った生産や、再生産可能な所得の確保・向上が求められている。 ○米については、農産物検査法に基づく1等比率(H29年10月末:96.7%)が、全国トップクラスを維持しているが、麦・大豆・そばについては、近年の天候不順により、品質低下や不安定な作柄が課題となっている。	30年度決算額	617,386 千円
目指す姿	○主食用米のみに依存しない持続性の高い水田農業経営体の育成に向け、水田経営の複合化や生産コストの削減を進めるとともに、経営所得安定対策等の国の支援措置を活用し、経営の安定化が図られている。 ○消費者や実需者ニーズを踏まえ、地域の特色ある産地づくりを進めるため「水田フル活用ビジョン」を県下全域で策定し、関係機関・団体と連携を図り、ビジョンに沿った作付け誘導が図られている。 ○県オリジナル品種(米(風さやか)、麦(ホワイトファイバー)、大豆(すずはまれ)、そば(信州ひすいそば等)の作付拡大や品質向上を図り、ブランド化による優位販売が行われている。 (主な実施内容:研修会開催、実証モデルほ場設置、高性能機械導入・施設整備支援、経営支援制度の推進、米の適正生産の推進など)	職員数	7.00 人

事業	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況							
					成果指標	29年度	30年度		達成状況			
コスト	予算額	前年度繰越	41,284	153,020		No	No	成果指標		29年度	30年度	
		当初予算	1,107,787	711,112	398,689				目標値		成果	
		補正予算	69,195	-62,841			①	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積	2,001ha	2,445ha	2,328ha	未達成
		合計(A)	1,218,266	801,291	398,689		②	米の1等比率の全国順位	1位	1位	2位	未達成
	Aの財源	一般財源	54,710	36,725	40,337	③	水田活用の直接支払交付金支払面積	10,421ha	10,828ha	10,174ha	未達成	
		県債				④	5ha以上の効率的な水田農業経営体数	652経営体	683経営体	667経営体	未達成	
		国庫支出金	271,007	220,882	327,403							
		その他	892,549	543,684	30,949							
	決算額(B)	919,257	617,386									
	概算人件費	職員数(人)	7.00	7.00	7.00							
概算人件費(C)		56,714	57,526	57,526								
概算事業費(B(A)+C)		975,971	674,912	456,215								
備考						成果指標設定理由	①「第3期県食と農業農村振興計画」に掲げる達成指標であり、県オリジナル品種(米・麦・大豆・そば)の普及・拡大状況を評価できるため。 ②本県において、品質の高い米生産が行われていることを評価できるため。 ③主食用米の計画生産と、需要を踏まえた水田への高収益作物などの作付け誘導により、水田の利活用状況について評価できるため。 ④本県の水田農業を担う効率的な水田農業経営を行う経営体の育成状況について評価できるため。					

目標に対する成果の状況	①水稲「風さやか」及び「信州ひすいそば」は、協議会体制により関係者が一丸となったPR対策等の実施、その他の品目については、生産振興研修会等の開催や関係機関が連携した計画的な生産振興により、作付面積が増加し、目標の95%まで拡大が図られた。 ②県内10地域において、実証ほ場の設置や検討会議の開催などを行う1等米比率全国1位プロジェクトを実施し、1等米比率向上のための指導を行った結果、全国2位となったものの、前年よりも1等米比率が向上した。 ③担い手の減少により、全体の申請数と面積ともに減少したものの、法人の申請数は増加していることから、大規模経営体への集約が図られていると考えられる。 ④新規品目導入による経営複合化の提案等により規模拡大のメリットを明確にするなど、効率的な水田農業経営体への誘導が図られた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国よりも10a当たりの米の生産費が高く、価格競争力が弱いことから、水田農業の体質強化が必要 ・消費者や実需者のニーズに対応した品種誘導と、適地適作による県オリジナル品種「風さやか」等の作付拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期食と農業農村振興計画の成果目標の達成に向けて、補助事業の活用による支援や栽培技術の徹底、PR対策等により生産振興を図る

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	実需者ニーズに対応した米・麦・大豆・そばの生産強化に向けた、品質向上研修会の開催や現地実証ほ場の設置等	1.80	10,520	8,131	113,410
2		種子対策事業	主要農作物(米、麦、大豆、そば)の種子を安定的に生産・供給するための、原種ほ等の設置や奨励品種決定調査の実施等	0.30	13,553	12,688	13,491
3		経営所得安定対策推進事業	水田農業の経営安定を図るための、経営所得安定対策への加入促進や事業推進に対する支援	1.00	249,500	218,947	253,337
4		主要穀類オリジナル品種戦略的拡大支援事業	水田経営体の収益力を高めるための、県オリジナル品種の戦略的な生産拡大	1.40	4,392	3,813	5,058
5		産地パワーアップ事業	産地強化を図るための、高性能農業機械の導入や施設の機能強化を支援	0.50	420,000	364,526	-
6		農業経営カイゼン実践普及事業	新たな手法により農家の経営改善を図るための、民間が行う改善手法の導入とモデル経営体への経営改善指導の実施	1.20	3,480	3,355	3,726
7		水田農業経営確立推進指導事業	主食用米の適正生産を推進するとともに水田農家の経営確立を図るための、高収益作物等の導入・定着や経営の複合化に対する支援	0.80	9,667	5,926	9,667
合計				7.00	711,112	617,386	398,689

事業改善シート附表

当初要求
 当初予算案
 補正予算案
 点検

事業番号	事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業			部局	農政部	課・室	農業技術課					
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容(予定)	30年度 実施内容(実績)	30年度 実施状況	30年度						
							29年度 当初(千円)	29年度 要求(千円)	30年度 当初(千円)	30年度 補正(千円)	30年度 決算(千円)		
09 03 01													
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	共同利用施設等の整備に対する支援	交付金	—	—		0	101,250	0				0
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	水稲及び麦・大豆・そばの生産振興	直接	・需要に的確に対応した米・麦・大豆・そばの生産振興方針の策定 ・生産体制を強化するための技術研修会等の開催 ・難防除雑草に係る現地実証ほの設置 等	・長野県主要農作物生産振興基本計画の策定(2月) ・生産体制を強化するための技術研修会等の開催(2回) ・難防除雑草に係る現地実証ほの設置(4か所)	計画通り ○	3,026	3,040	3,040				1,733
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	重点産地(麦・大豆・そば)の育成	直接	・作付推進・品質向上研修会の開催 ・輪作体系推進に向けた技術現地検討会の開催	・輪作体系の推進についての内容を盛り込んだ作付推進・品質向上研修会の開催(1回)	計画通り ○	188	188	188				188
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	ドローンを活用した病害虫・作物管理システムの開発	直接	・メーカーと連携した省力的な防除技術等の実証 ・ICTデータ等を活用した効率的な防除方法の開発	・ドローンを活用した省力的な防除技術の確立のため、2地区で実証試験を実施	計画通り ○	0	2,000	1,066				559
1	(多様なニーズに対応する穀物生産振興事業)	(土壌有害物質のリスク管理)	直接	—	—		786	0	0				0
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	農産物の検査業務	直接	・農産物検査制度に基づく、検査機関の登録審査及び立入検査の実施	・農検法に基づく検査機関の登録及び更新審査を行うとともに、立入検査を実施(13か所)	計画通り ○	890	880	880				311
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	地域食料自給圏の実証実験	直接	・地消地産を一層推進するため、生産から販売までの地域内循環システムに係る実証ほ場の設置と検証	・地消地産を一層推進するため、生産から販売までの地域内循環システムに係る実証ほ場の設置(2年目)、事業検討会の開催(1回)	計画通り ○	4,687	5,892	5,346				5,340
2	種子対策事業	奨励品種決定調査	委託	・奨励品種決定調査ほ場の設置(農家委託)	・奨励品種決定調査ほ場の設置(21か所)	計画通り ○	658	657	657				657
2	種子対策事業	奨励品種決定調査	直接	・原原種及び原種の採種ほ場の設置 ・奨励品種決定調査の実施	・原原種及び原種の採種ほ場の設置(845a) ・奨励品種決定調査の実施(21か所)	計画通り ○	1,551	1,544	1,544				679
2	種子対策事業	原種センターへの支援	補助金	・主要農作物種子(米、麦、大豆、そば)の安定生産・供給及び災害に備えた種子備蓄に係る原種センターへの支援	・主要農作物種子(米、麦、大豆、そば)の安定生産・供給及び災害に備えた種子備蓄に係る原種センターへの支援	計画通り ○	11,210	11,352	11,352				11,352
3	経営所得安定対策推進事業	制度への加入促進及び事業推進	補助金	・経営所得安定対策の説明会開催 ・農業者別生産数量目安値に関する申請書配布、回収 ・現地確認等	・経営所得安定対策の説明会の開催(9月、1月) ・生産数量目安値に関する申請書の配布、回収、現地確認 ・タブレット導入による現地確認の効率化支援等	計画通り ○	250,000	249,500	249,500	-29,884			218,947
4	主要穀類オリジナル品種戦略的拡大支援事業	「風さやか」のブランド確立推進	補助金	・「風さやか」のブランド力強化に向けて、メディア等を介したPRやイベントの開催等	・「風さやか」のブランド力強化に向けた、メディア等を介したPRやイベントの開催等(イベント:14回、TV放映:7回)	計画通り ○	3,510	3,510	3,510				3,510
4	主要穀類オリジナル品種戦略的拡大支援事業	「信州ひすいそば」のブランド確立推進	直接	・「信州ひすいそば」のブランド化や生産拡大に向けた研修会の開催やPR活動の実施	・「信州ひすいそば」の生産拡大・品質向上に向け、生産者・実需者との意見交換を実施 ・ブランド力強化のため、そば新品種「桔梗11号」の種評価会を開催	計画通り ○	1,674	882	882				303
5	産地パワーアップ事業	産地強化に対する支援	補助金	・次世代を担う農業者等が実施する施設整備や高収益作物・栽培体系への転換を総合的に支援	・農業の収益力強化のための施設整備(3か所)、機械のリース導入等(57か所)を支援	計画通り ○	800,000	420,000	420,000	-30,216			364,526
6	農業経営カイゼン実践普及事業	新たな経営改善手法の習得と実践	委託	・農業法人におけるカイゼン手法の実践を通じた普及指導員の新たな普及手法の習得	・大規模法人におけるカイゼン手法を活用した実践活動の支援(水稲モデル2法人) ・普及指導員のカイゼン手法の習得研修(6回)	計画通り ○	5,787	5,787	3,480				3,355
7	水田農業経営確立推進指導事業	米の計画生産に係る県推進	直接	・米の計画生産を基本に、米+αによる経営の複合化や米の品質向上による水田農家の経営確立を推進	・各JAが策定した複合化推進計画に基づいた、米+αによる経営の複合化や米の品質向上による水田農家の経営確立を推進	計画通り ○	2,166	2,156	2,156				2,750
7	水田農業経営確立推進指導事業	水田農家の経営複合化支援	補助金	・水田農家の経営確立に向け、地域が行う高収益作物等の試作・導入や、野菜等の作物導入に必要な農業機械導入に対して支援	・水田農家の経営確立に向け、高収益作物等の試作・導入試験や、地域振興品目のブランド化等のPR活動を支援(13市町村)	計画通り ○	12,011	7,511	7,511	-2,741			3,176

事業番号	事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業				部局	農政部	課・室	農業技術課		
09 03 01											
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度			
							当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）
	（米粉普及推進事業）	（米粉の利用促進）	直接	—	—		0	0	0		
	（水田農業所得向上緊急支援事業）	（水田農業複合経営モデルの提示と推進）	直接	—	—		9,643	0	0		
合 計							1,107,787	816,149	711,112	-62,841	617,386